

日本工学会平成25年度公開シンポジウム
日本新生に向けた工学の使命
3.11と日本建築学会-2012年度の活動

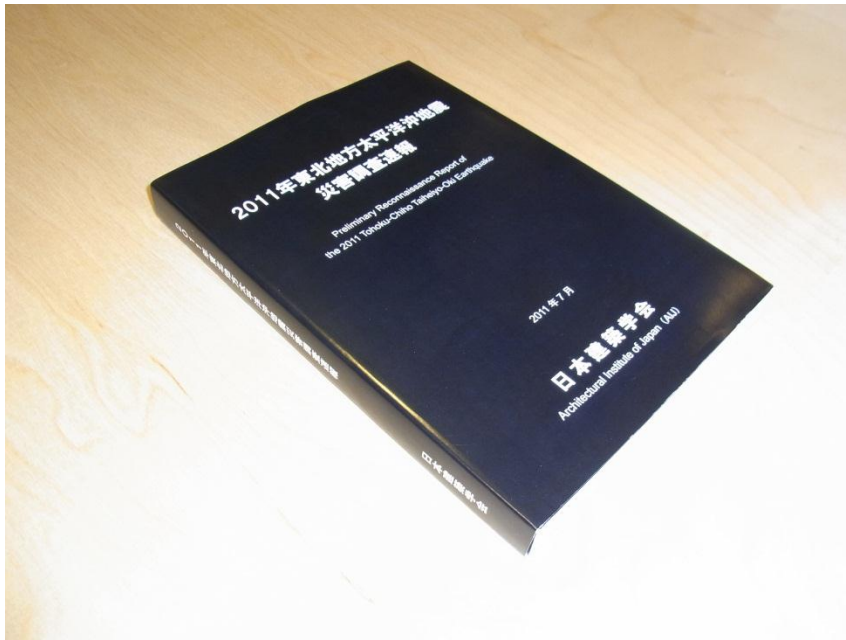
日本建築学会前副会長
長谷見 雄二

3.11直後の日本建築学会のアクション

- 3月
- 調査復興支援本部の設置
- 災害情報収集支援室の設置
- 災害委員会をハブに、調査の組織化

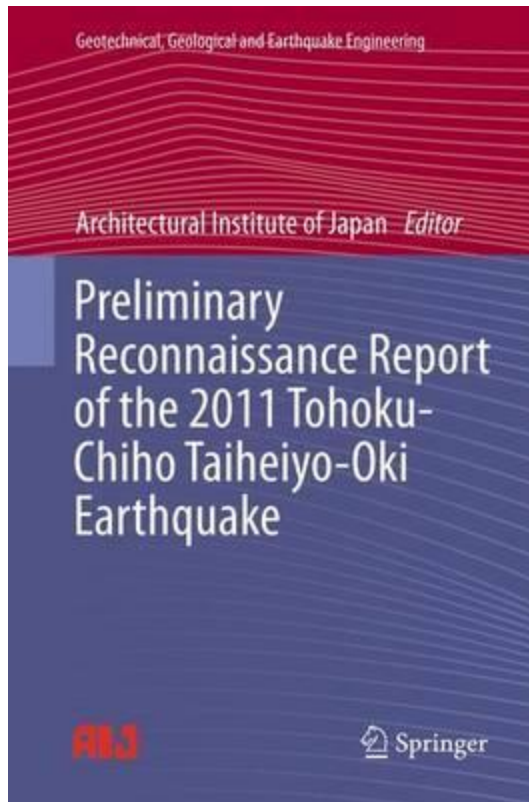
- 4月
- 災害調査ガイドラインの制定
- 復旧復興に向けた提案募集

2011年東北地方太平洋沖地震 災害調査速報(2011)



- 2011年7月刊行。
- 第1章 調査及び被害の概要
- 第2章 地震・地盤・津波
- 第3章 東北地方の被害
- 第4章 関東地方の被害
- 第5章 北陸・東海地方の被害
- 第6章 各構造の被害
- 第7章 まとめ

Preliminary Reconnaissance Report of the 2011 Tohoku-Chiho Taiheiyo-Oki Earthquake



- 災害調査速報の英文版
- 2012/10/2
Springerより刊行

地震が建築・まちに及ぼした幅広い被害・影響

- 文化財建造物の被害・滅失
「東日本大震災文化財被災建造物復旧支援事業」
- 津波等で引き起こされた市街地火災
- 電力危機が、都市機能・生活・企業活動に及ぼしている影響
- インフラ被害による地域継続危機
- 地域の将来像への影響

新生に向けた日本社会の課題

- 安心して生活できる少子高齢化社会
- 一極集中と地方の過疎化/それぞれの課題
- 予想される大地震・気候変動災害
- 地球環境問題
- 産業のグローバル化とナショナリズム

新生に向けた日本社会の課題

- 安心して生活できる少子高齢化社会
- 一極集中と地方の過疎化/それぞれの課題
- 予想される大地震・気候変動災害
- 地球環境問題
- 産業のグローバル化とナショナリズム



もともと存在した課題が震災で顕在化してきた。
息長く、学会の知恵を広く活かす体制と、研究発表
に終わらせない戦略が必要。

日本建築学会

東日本大震災復旧復興活動支援調査研究助成プログラム

- 浪江町 地域主体による復興まちづくりのシナリオ検討支援
- 気仙沼まちなか三町・市民事業による内湾まちづくり支援
- 宮古市民の震災後のサロン活動(文化活動)とその象徴としての場づくり支援
- 福島県須賀川市の復旧復興に関する記録保存と住民主導のまちづくりのあり方に関する調査
- 民間・非営利イニシアチブによる石巻・横丁ハウジング支援プログラムー 中心街複合居住街区の空間像とマネジメント手法の検討ー
- 陸前高田市における地域コミュニティ再生の実践的研究
- 住民向け住まい再建ガイドブックプロジェクト
- 仙台平野における新たな農ある暮らしの復興デザイン ～三本塚・南蒲生・荒浜3地区と仙台市街地を農で繋げる持続可能な再生へ向けて～
- 仮設住宅居住環境改善プロジェクト
- 宮城県気仙沼市唐桑町鮪立における沿岸漁業再興のための支援活動
- 川俣町小島集落コミュニティ・プラットフォーム支援事業
- 宮城県気仙沼市松岩地区における高台移転のためのコミュニティ環境形成支援
- 小規模集落における復興まちづくりプロセスのモデル化～南三陸町田の浦における実践から
- 気仙沼大島漁業史文庫の復興とそのまちづくり的展開
- 釜石市仮設期における廃校利用計画

復旧復興支援部会連続シンポジウム

第3回 「復興の原理としての
コミュニティーオランダから
の提言」



第4回 「復興の原理としての
「建築」ーコミュニティー・
アーキテクト制をめぐって
ー」



第5回 「福島県における復
旧復興まちづくりを考える」



東日本大震災2周年シンポジウム

3.27 – 3.29 建築会館



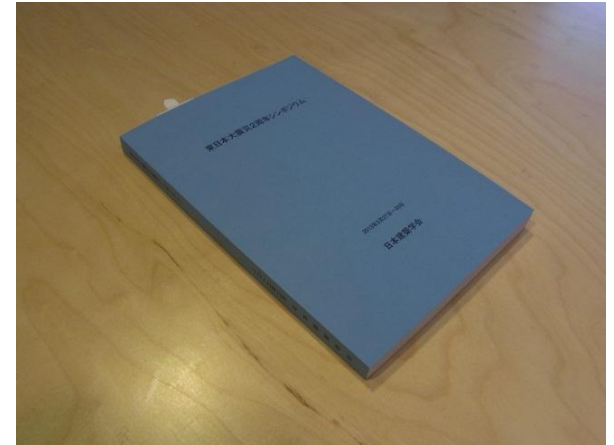
- 東日本大震災復旧復興支援の課題と行動方針-助成プログラム報告
- 建築関連団体災害対策連絡会報告
- 公募発表



● 1周年シンポジウム「東日本大震災からの教訓、これからの新しい国づくり」は、2012年3月1,2日に開催。

東日本大震災2周年シンポジウム

3.27 - 3.29 建築会館



- 1周年に比べて以下について深い議論が進められた。
- 復興の具体的な課題
- 全国の防災で必要な課題

日本建築学会大会における研究集会

9.12 - 9.14 名古屋大学

(RC構造) 東日本大震災における鉄筋コンクリート建物の被害と分析

(シェル・空間構造) 大空間施設の総合的耐震性能を考える - 東日本大震災を経験して

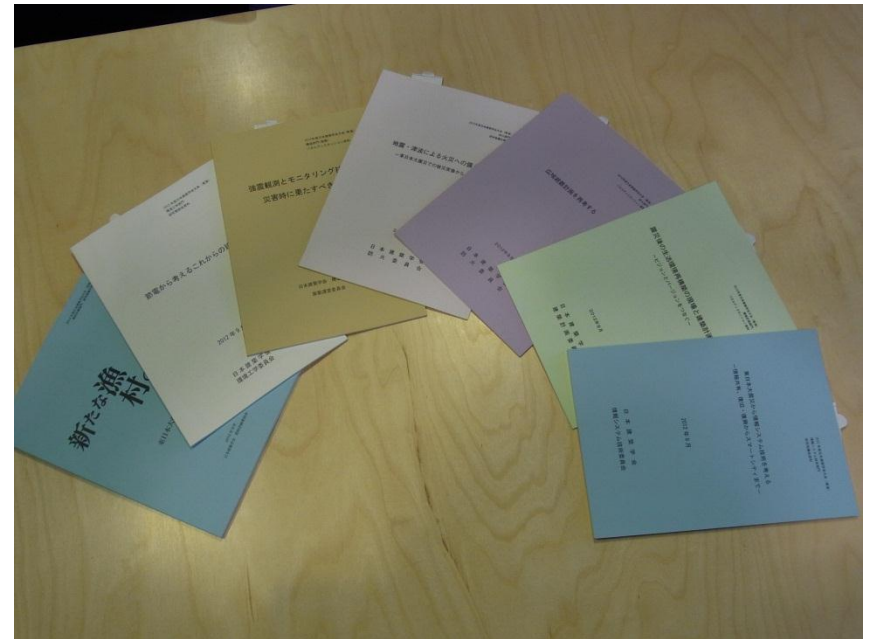
(防火) 地震・津波による火災への備え - 東日本大震災での被災実像から

(建築計画) 震災後の生活環境再構築の現場と建築計画学 - ビジョンとバージョンをつなぐ

(農村計画) 新たな漁村のかたち - 東日本大震災からの復興

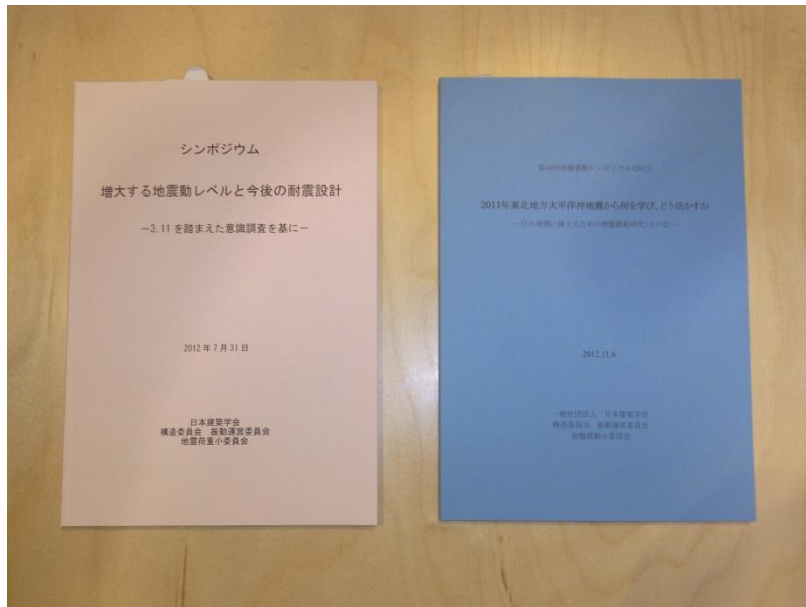
(建築社会システム) 東日本大震災一年半・初動期の住宅対策と住宅復興に向けた課題

(情報システム技術) 東日本大震災から情報システム技術を考える - 情報共有、復旧・復興からスマートシティまで



常置委員会が企画するシンポジウム

- 4/28 シンポジウム「巨大地震に備える事前復興のためのまちづくり支援の現状と展望」
- 7/31 シンポジウム「増大する地震動レベルと今後の耐震設計—3.11を踏まえた意識調査を基に—」
- 9/11 空気シンポジウム「仮設・除染・電源—東日本大震災その後」
- 3/13 学際シンポジウム「東日本大震災と人間科学—災害に伴う社会・環境の変化」



他学会等との協力

- 土木学会主催シンポジウムにおけるセッション「工学連携による巨大災害と社会安全への取り組み」3/6
- 首都震災を想定した工学連携ワークショップ 2012.9 –
- 日本学会会議連続シンポジウム「巨大災害から生命と国土を護る－24学会からの発信－」- 2012.5/10, 6/21, 7/24, 8/8
- 三十学会・共同声明 国土・防災・減災政策の見直しに向けて－巨大災害から生命と国土を護るために－ 2012.5.10
- インフラ系8学会 東日本大震災合同調査報告書

東日本大震災合同調査報告書

(全29巻、うち建築編11巻)

- 阪神淡路大震災の際、インフラ系5学会で合同調査報告書を作成した。それを踏まえ、8学会合同(日本建築学会、土木学会、地盤工学会、日本地震工学会、日本機械学会、日本地震学会、日本都市計画学会、日本原子力学会)で編集している。
- 日本建築学会としては、調査して判明した事実を後世に残すことを編集の主目的とする。
- 1) 鉄筋コンクリート造建築物 2) プレストレストコンクリート造建築物/鉄骨鉄筋コンクリート造建築物 3) 鉄骨造建築物/シェル・空間構造
4) 木造建築物/歴史的建造物の被害 5) 建築基礎構造/津波の特性と被害 6) 非構造部材/材料施工 7) 火災/情報システム技術
8) 建築設備・建築環境 9) 建築社会システムと震災/集落計画
10) 建築計画 11) 建築法制/都市計画
- 震災が、今も、現在進行形の分野もある= 都市計画、農村計画、法制など。2013年度から順次、編集完了させていく。